



幕張新都心より東京湾を望む(美浜区)



マリンスポーツアリーナでのコンサート



幕張新都心トライアスロン大会

第3回 定例会のあらまし

平成11年第3回定例会が、9月9日から10月4日までの26日間の日程で開かれました。
この定例会では、条例の制定、補正予算および平成10年度決算など39件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決・同意・認定しました。
さらに、議員提出の議案1件と意見書7件、請願5件を審議したほか、各会派の代表質問が7名の議員により行われました。
なお、平成10年度決算議案については、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

可決した主な議案

千葉県ハーモニープラザ 12月1日オープン

《予算》

*一般会計補正予算

国の第1次補正予算に伴う緊急地域雇用対策事業費や少子化対策事業費を計上することにも、国庫補助金の決定に伴う廃棄物処理、公園などの生活関連施設整備費や、街路、土地区画整理事業などの都市基盤整備費を追加するほか、2002年ワールドカップサッカー大会公認キャンプ地の立候補に当たり、美浜区スポーツ施設建設事業費を計上するなど、合わせて四十億四千九百万円を追加します。この財源としては、国庫支出金十七億七千三百万円、市債十億一千八百万円、地方交付税五億七千三百万円などとなっています。これにより一般会計の予算総額は、三千四百六十六億三千三百万円になります。

*特別会計補正予算(企業会計を含む)

千葉市公共用地取得事業特別会計など6事業会計に、合わせて十七億四千八百万円を追加します。これにより特別会計の予算総額は、二千九百十八億六千六百万円になります。

《条例》

*千葉県ハーモニープラザ設置管理条例の制定

新たに千葉県ハーモニープラザを中央区千葉寺町に設置するため、条例を制定します。

《町の区域及び名称の変更》

*千葉都市計画南部土地区画整理事業(第1工区)の換地処分に伴い、中央区今井町、大蔵寺町および大森町の各一部の区域について、町の区域および名称を変更します。

《土地の取得》

*斎場会館の用地として、緑区平山町の土地を三億八千二百万円で取得します。

*旧千葉急行線(現京成電鉄千原線) 鉄道用地として、中央区長洲1丁目他の土地を二十五億二千百万円で取得します。

《財産の処分》

*青年館の廃止に伴い、旧赤井青年館など11館の建物を町内自治会に無償で譲渡します。

《工事請負契約》

*千葉市公営住宅西下田団地第1棟・第2棟建築主体工事を五億四千三百万円で行います。



市民自由クラブ

介護保険料について

本市の65歳以上の被保険者の保険料額とその評価について伺う。
また、「上乗せ」といわれる要介護度に応じた設定限度基準額を超えた額の増額や「横だし」といわれる市町村特別給付、保険福祉事業について伺う。

本市の介護給付等サービスの見込みについて伺う。
また、介護報酬の仮単価等に基づいて、保険料を暫定的に試算した結果、65歳以上の被保険者の保険料基準額は、月額3000円と算出された。この保険料基準額は、介護報酬の確定やサービス供給量見込みなど今後の検討により変動する可能性がある。また、保険料基準額の水増しは、要介護高齢者数やサービスの見込み、人員費等を加味した地域加算の有無等に左右され、他の市町村の保険料水準と単純に比較することは難しいとされている。

昨年施行された中心市街地活性化法を受け、



旧扇屋ジャスコ (中央区中央)

年内を目標に基本計画の作成が検討委員会を進められているが、検討状況を伺う。また、市が公共施設用地として確保している旧扇屋ジャスコ用地について、活性化に役立つかどうかを伺う。
また、旧扇屋ジャスコ用地については、活性化に役立つかどうかを伺う。
また、旧扇屋ジャスコ用地については、活性化に役立つかどうかを伺う。

千葉市議会 公明党

官庁会計への企業会計方式の導入について

最近、地方自治体に企業会計の手法を導入する動きが広まっているが、その方式のメリットと問題点について伺う。



創業者研修

手したいと考えている。
創業者への支援策について
ベンチャー企業をはじめとする創業者への支援策について、見解を伺う。
今年度より新たに創業を志している方などを対象に、創業者研修を実施し、研修の修了者に対して、研究の修了者に対して、開業・育成資金を利用できるなど、新規創業者の支援を図ることとした。こうした施策を契機に、人材や技術力などの人的資源を掘り起こすことにより、本市経済の活性化と地域雇用創出の促進が図られると期待しているが、今後、その内容について事業効果などを踏まえ、さらに充実に向けた検討をしていきたい。また、ベンチャー企業の創業・育成については、現行の技術アドバイザー派遣制度の推進や産学官の共同研究体制をさらに充実していきたい。

日本共産党 千葉市議会議員団

公正な行政について

昨年11月からの工事請負契約において、予定価格に近い額で落札する率が非常に高く、談合の疑いが強いが、どう考えるのか伺う。
また、市内小建設業者の健全な育成を図り、受注率を高めることについての見解を伺う。



デイサービスを利用する方々

土木工事の積算基準と設計単価を公表し、予定価格の事後公表も行うことからの、一定の積算能力があれば、ある程度の設計額の推定が可能である。また、各工事に設計内容が異なることから、各企業は独自の経費率に基づき積算の上、高札率に異なるとは、個々の入札の結果である。また、市内の中小業者への発注率を高めることについては、従来からランク別発注基準の順守や分離・分割発注に努め、可能な限り優先することを基本方針としてきており、今後も受注機会の拡大に努めていきたい。

民主新政クラブ

実務型研修の積極的活用について

市職員は、机上の感覚で物事をとらえやすい体質から脱却し、現場を認識し、実務に精通した上で、市民感情、市民の立場を配慮した対応が必要である。日々、市民と接する窓口業務を重点として、常に窓口業務を重視し、繰り返し継続的に指導する研修を積極的に実施する必要があると考えるが、どうか。

保育制度の充実について

近年の長引く不況の余波もあると思うが、保育需要はますます高まっており、3歳未満児の入所が厳しくなっている。私立保育園も3歳未満児の定員を2割以上超えて受け入れているのに、市立保育所は定員を固守しているが、なぜか。また、今年度における対応策と来年度の取り組みを伺う。



増設予定の第3保育所

市立保育所においては、受け入れ体制については、児童福祉施設最低基準を守りながら、施設の余裕などを考慮し、定員枠の見直しを市が率先して進めたい。また、今年度については、年度途中での対応となり、保育士の増員の課題も生ずるため、柔軟な対応が求められる。
今年度の対応と来年度の取り組みについて、市民の立場に立った確かな対応が実践できる職員の育成に努力していきたい。

五月会

東南部地域における医療施設整備について

東南部地域に開設される国・県立病院が分担して、夜間・休日における救急患者の診療が行えるよう整備を急ぐべきと考えられているが、見解を伺う。

東南部地域に設置されている国・県立病院は、一般医療機関では対応が困難な特殊または高度・専門的な医療を提供するために設置されており、原則的に各種医療機関およびその他の保健関係機関からの紹介により患者を受け入れる。このため、救急患者の受け入れは一部において、専門治療が必要となる重症患者に限り対応している。本市の夜間・休日初期診療は、「夜間救急初期診療部」(保口救急診療所)において、対応する体制となっているが、救急医療体制の充実のためには、国・県の医療機関との連携も必要で、救急医療へのより積極的な参加を求めている。

交通安全センター

千葉支部の設立について

阪神淡路大震災のような大災害が発生した場合、ライフラインの復興には、被災都市単独では限界があるため、各自治体、公益事業者



休日救急診療所 (美浜区幸町)

千葉支部の設立は平成12年度に、道路管理システムの稼働は平成14年度を目途に努力していきたい。

市政会

病児保育について

今年7月からスタートした病児保育モデル事業の実施状況を伺う。この事業の現状を踏まえて、本市の今後の病児保育のあり方についてどのように考えているのか。

機器の緊急搬送について

搬送した際の費用負担は、どのように考えているのか。

乳幼児健康支援一時預かり事業、いわゆる病児保育のモデル事業の実施状況は、8月末までの2か月間で延べ85人の利用があった。利用児童の状況としては、3歳未満の児童の利用が約85%となっている。

また、平成12年度には、実施形態が見込まれるなど、実施形態

市民ネットワーク

男女共同参画社会について

新女性計画策定について、今年度市民意識調査を実施することになっているが、概要とスケジュールなどについて伺う。

遺伝子組み換え食品について

現在、給食の食材で、どのような食品にどのような割合で遺伝子組み換え食品が使われているのか調査する考えがあるのか。

調査の実施については、現時点では、国の表示義務付けが実施されておらず、どのような食品にどのような割合で遺伝子組み換え食品が使われているか不明なため、調査することは困難である。



12月1日オープンハーモニープラザ(中央区千葉市)

可決した意見書(要旨)

議員提出議案として7件の意見書を審議し、次の3件を可決しました。可決した意見書は、関係行政機関に提出しました。

ベンチャー企業の起業環境の整備と雇用の拡大を求める意見書

政府に対し、「ベンチャー・サポート・アドバイザー制度」の創設や、中小・ベンチャー企業への投資損失に対する課税繰り延べ期間の延長など、ベンチャー企業等の支援策を打ち出し、活力ある産業の育成と雇用対策を早急に確立されるよう求める。

遺伝子組み換え食品の表示の充実を求める意見書

政府に対し、遺伝子組み換え食品の表示の対象を食品に関するすべてとし、流通のあらゆる段階で義務づけるよう要請する。

原子力関連施設における安全確保と危機管理体制の確立を求める意見書

政府に対し、住民への健康管理に万全を期するほか、事故原因の徹底説明を行い、再発防止に努め、施設への定期的検査の完全実施を含む安全確保と危機管理体制の確立に万全の対策を講じるとともに、情報公開を徹底されるよう強く要請する。

永年勤続議員表彰

永年にわたり市政の振興に努められた功績により、全国市議会議長会から次の議員が表彰され、9月9日の本会議場において表彰状が伝達されました。

在職25年以上 宍倉 清蔵
在職20年以上 中山 善郎 橋本 登 糸日谷義男

感謝状の伝達

全国市議会議長会から竹内正巳議員、橋本登議員にそれぞれ感謝状が授与され、9月9日の本会議場において伝達されました。

委員会審査・調査から

常任委員会

9月14日に開かれ、市長提出議案17件、議員提出議案1件、請願5件を審査しました。

なお、千葉市ハーモニープラザ設置管理条例の制定については、保健下水道委員会・総務委員会連合審査会で審査しました。

全市長提出議案を可決したほか、請願は、不採択4件、継続審査1件となりました。

また、千葉市老人福祉センター設置管理条例の一部改正の議員提出議案1件は否決となりました。



保健下水道委員会審査風景

総務委員会

一般会計補正予算議案など議案3件を審査し、チャイルドシート着用啓発促進事業について、市民への貸出場所の周知方法、ベビシート以外のチャイルドシートなどの貸し出しを子育て支援の観点から今後検討する考えの有無などについて質疑がありました。

保健下水道委員会

一般会計補正予算や千葉市ハーモニープラザ設置管理条例の制定など議案7件(議員提出議案1件を含む)、請願2件を審査しました。ハーモニープラザ設置管理条例については、連合審査会の中で、各施設における管理体制と専門職員の配置状況などについて、質疑がありました。

るための医療・福祉・教育の充実を求める請願

環境建設委員会

一般会計補正予算や水道事業会計補正予算など議案3件を審査し、新内陸最終処分場整備事業に関し、国庫補助率、事業の進捗状況、周辺環境対策、ダイオキシン対策、施設に対する地域住民の不安解消に向けた取り組みなどについて、質疑がありました。

経済教育委員会

一般会計補正予算や千葉市中央卸売市場業務規程の一部改正など議案4件、請願1件を審査し、美浜区スポーツ施設建設事業費に関し、稲毛海浜公園球技場へのワールドカップサッカー大会公認キャンプ地招致を目指した予算措置に対する見解と総事業費、ワールドカップ終了後の施設利用の方針などについて、質疑がありました。

都市消防委員会

都市計画土地地区画整理事業特別会計補正予算や公営住宅西下田団地第1棟・第2棟建築主体工事請負契約など議案5件、請願2件を審査し、西下田団地に関し、駐車場の設置状況と障害者世帯、高齢者世帯、一般世帯向けの各住居別バリアフリーの相違点などについて、質疑がありました。



西下田団地第1棟・第2棟完成予想図

難病者・障害者が安心して暮らせるためのバス交通の充実を求める請願

「千葉都市モノレール」の運賃値下げ・施設改善・駅員の増員を求めることに関する請願

大都市税財政制度・地方分権調査特別委員会

7月5日に開かれ、平成12年度国家予算に関する要望などを協議した後、地方分権一括法案について調査しました。

また、9月7日に開かれ、大都市財政の実態に即応する財源の拡充に関する要望について協議したほか、10月21日に開かれ、平成12年度国家予算に関する重点要望に關しての党派別重点要望について協議しました。

少子・高齢化社会対策調査特別委員会

8月11日に開かれ、本市における少子・高齢化の現状などについて調査を行ったほか、今後の委員会の進め方について協議しました。

決算審査特別委員会

平成10年度一般会計および特別会計決算議案を審査するため、9月13

日に、全議員で構成する決算審査特別委員会(2分科会)を設置し、計8日間にわたり審査しました。

また、総括質問が9名の議員により行われました。

10月1日の決算審査特別委員会では、2分科会の審査概要について報告が行われ、採決の結果、各会計決算を認定しました。

なお、次の8項目の指摘要望事項は、決算審査特別委員会が市長に要望したものです。

指摘要望事項

財政運営については、現下の極めて厳しい財政状況から、徹底した事務事業の見直しなどにより行政改革を積極的に推進するとともに、財源の積極的な確保、債務残高の削減などを図り、一層の健全財政の維持に努めること。

地域防災計画の見直しに当たっては、さきのトルコおよび台湾大地震を教訓とした地震対策を初め、都市防災体制の強化の観点から、風水害対策および大規模事故対策にも十分に対処すること。

在宅高齢者福祉事業については、介護保険制度への円滑な移行に向け、デイサービスやホームヘルプサービス事業の一層の拡充により、サービス供給量の確保に追いつきよう期

すること。

中央卸売市場については、農水産物生産者との協力による安定した供給体制の確立を図るとともに、販路の一層の拡大により市場事業の活性化に努めること。

総合公園として計画策定された公園の整備に当たっては、計画地域の特性や地元要望を踏まえ、事業がより一層促進されるよう留意すること。また、街区、近隣などの身近な公園については、その維持管理や設備の充実にも意を用いること。

橋りょう震災対策については、災害時の緊急輸送路および避難路確保など市民生活の安全を図るため、早期に必要な箇所への耐震対策工事を実施すること。

下水道整備に当たっては、未水洗化世帯の早期解消を図るとともに、下排水の水質改善に向けた施策の充実を図ること。

図書館については、利用者要望が多い開館時間の延長を拡充するなど多様な市民ニーズに対応したサービスの提供に努めること。

総括質問

主な質問項目

- 高度情報通信社会における千葉市について
- 養護学校の卒業生の市職員採用について
- 子育て支援について

千葉市美術館所蔵作品



「氷島」の著者 萩原朔太郎像
恩地孝四郎 作 1943年

この作品は、晩年の詩人萩原朔太郎を描いた木版画です。恩地と朔太郎は旧知の間柄でしたが、これは1943年、前年に没した作家の写真をもとに制作されました。幾度も眉を重ねた顔の凹凸や髪質の質感は重厚かつ深く、対象の核に迫ろうとする、画家の並々ならぬ情熱を感じさせる傑作です。

表紙に掲載しました写真は、未来型国際業務都市を目指す幕張新都心の風景です。

幕張新都心は、国際的企業や先端技術産業などが集積し、3万7千人の方が働いています。幕張メッセやプロ野球千葉ロッテマリンスズの本拠地である千葉マリンスタジアム、ホテル群などには、県内外から多くの方が集まっています。住宅地区では幕張ベイタウンの整備が進められ、約9千人の市民が居住しています。

今年の夏、人気ロックグループによる20万人規模の野外イベントが開かれ、幕張新都心の名がさらに広まりました。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎043(245)5472

お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成11年第4回定例会は11月29日(月)に開会する予定です。本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。会議日程は11月25日(休)に決まる予定です。

- 救急医療体制について
- 結核について
- 地域経済の活性化について
- 地場農業について
- 千葉市農業の発展と、市民への新鮮で安全な農産物の供給について
- 図書館について

